

ぼくらは新兵

第十二施設群、新隊員後期教育隊(隊長、渡辺哲夫一陸尉)は、このほど、昨年九月入隊の新隊員三十名を迎えて一月十二日から教育を開始した。

過半数の十七名は、雪に馴れない温国育ちのため、教育開始当初からスキー基本訓練に力を入れてきたが、隊舎から外はすべてスキー訓練場という恵まれた駐とん地環境も

味方して、休日等にもスキーを楽しむ新隊員も多く、駐とん地開放で、部隊スキー場を訪れる市民との交流を深めながら、「雪は面白いもの」、「冬は楽しいもの」といつた感覚が育つている。

又、居室内には教育内容を楽しくイラストでアレンジした教育終了までのカリキュラムを掲示して、被教育者に教育段階を理解させ、次の教育

十月十七日、雨の日の朝、突然に、本当に突然に、あの「亀さん」が逝つた。

亡くなる二日前の十五日、米週からの演習準備やら車検準備やらで、遅くまで残業した後

「よし、もう帰るぞ」といつて元気に單車用ヘルメットを冠り、中隊を出た後

姿が彼の最後の姿となるうとは、誰が想像し得ただろうか

「亀さん」

そう！二等陸曹、亀石純郎。しかし、中隊の誰からも「亀さん、亀さん」と親しまれ、愛された「亀さん」が、何故こゝろも早く逝つてしまつたのか。

家にいる時は、良きパパ、良き夫であつた亀さんも、中隊務に関する限り、あいまいなことには一切妥協しなかつた。

段階に期待と興味を持たせ、現段階に熱中させたい……として創意されたものである。

時期的に悪い「施設基礎作薬」等の訓練も酷寒、吹雪、雪中であるにもかかわらず、教官、加茂二尉以下指導陣の創意と熱意により、興味をかき立てながら楽しい指導を：という方針のもとに、かじかんだ指をこすりつ、馴れない器具操作に挑んでいる。

新隊員の資質もさることながら、一段と早い理解力と熱意に、教育の成果が期待されている。(十二群 広報)

「右か、左いつまでもジツツと事務室でたものだつた。」

「やるのか、やらないの待ち続ける姿に、部下を愛すか、こうと決まるまで一歩も動かさなかつた「亀さん」。

(頑固なナアー、いゝ加減に「判つた」といつてくれればいいのに……)と内心幾度思つたことか。

車両主任陸曹として、車両子供のように無邪気にはしゃ

「亀さん」を、冗談をいつて人を笑わせたり、昼休みの一刻には、卒先して屋外に飛び出し、好きなソフトボールに興じる。自他ともに認める名プレイヤーに勝つことを知らない。とさえいわれた。それでいて亀さんのいるチームに皆争つて入つ

「別れ」の号令を下さなかつた。課業外遅くなつても帰隊しないドライバーがいると、

哀悼の譜

マイカーで
一家年始帰省途中の悲劇
「緩い下りカーブには注意」
岩見沢警務連絡班

一筆啓上

東北方面隊の某駐とん地、N二曹(四〇)は、年始帰省のため一月七日、マイカーに妻と子供三人を乗せてF市の実家に行く途中、下り(約五%)の緩やかな左カーブにさしかか



は、出座者全員がビツクリした。突然変異なのか「いや悪酔いしたのだらう」と。

「亀さん」の想い出は、いつまでも尽きることがない。常に、自己に厳しさを求め活模範を示して、隊員を引張つて行くことができるのは「亀さん」ならではの為人(ひととなり)だと誰もが信じている。

その亀さんもいまは近い。四十九日忌の聲明が照らす参拝者の顔に、沈痛な面持ちが、未だに「亀さん」の人となりを表わしているようだつた。

中隊全員が亀さんの職務に対する遺志と人柄を継ぎ、自衛隊員として志半ばにして逝つた「亀さん」の分まで頑張ろう。と、誓い合つたもの

大型トラックを認め、急ブレーキをかけたため、約十七メートルスリッパして、センターラインを越え、トラックと衝突し、同乗の妻をケイ骨骨折により死亡、本人も即死し、子供三名に全身打撲及び頭部打撲等(全治不明)の重傷を負わせた。

まことに痛ましい冬型の事故である。

過去の事故をみると、「緩やかな下りカーブ」の場所での事故が多く発生しています。皆さんが通るなれた道路について、もう一度、点検してみましよう。

そのことが別の世界の「亀さん」を安心させ、かつ、日本一の中隊になる日を見守つていてくれるだろう。と。

合掌
(三三七施中 広報)

短かいホンの一刻に、皆の緊張を和らげて、ふん困気(ふんこんき)を盛り上げ、チームワークを固めるのが上手だつた「亀さん」。

隊員がよく、長崎県の亀さんの出身地のことを、「汽車で〇日、船で〇日、歩いて〇日」などと冷やかしていたものだが、そんな時、亀さんはいつになくムキになつて

「それは昔のことだ。今は平戸大橋もかゝり、フェリ

で上陸したら玄関先にその方も横付だよ」と、郷土愛のなかに相当なもののをのぞかせていた。

昨年九月下旬、亀さんとつて最後の宴会となつた中隊の宴会のこと、絶対に歌わなかつた「亀さん」が、喜々として湯気に歌い出したの